

「全鍍連」 2021年 11月号 理事長のよこがお

富山県鍍金工業組合 理事長 梅田雄一郎 (株)ユニゾーン 代表取締役社長)

「皆様、初めまして」



今年5月に富山県鍍金工業組合理事長に就任致しました(株)ユニゾーンの梅田雄一郎です。

理事長職を務めさせていただくことは、私にとって大変光栄な事であると同時に、責任の重さを痛感しております。とうとうお鉢が回ってきた（良い意味です）訳ですが、少しばかり自己紹介させていただきます。私自身は団塊ジュニア世代（1971～74年生まれ）の48才。我々は毎年200万人以上が生まれてきた世代で、団塊世代に次ぎ人口が多いとされています。因みに昨年は最小の84万人でした。少年時代は正にジャパンアズナンバーワンの時代で、大人たちは自信に満ち溢れていて、世の中に活気があったのを子供ながらに何となく憶えています。人口が多いことで「史上最大の受験戦争」を経験したのにも関わらず、バブルは経験できず、「就職氷河期」で社会人デビュー。その後めっきに関わり、あっという間に20数年経ちました。この年齢になりますと10年という時間がいかに早く過ぎていくかが解るようになりました。例えば東日本大震災からもう10年です。初代iPhone発売から14年です。最近ようやく慣れてきたZoom等のリモートウェブ会議ですが、インターネットが身近になったきっかけのWindows95登場からはもう四半世紀経ちました。なんとも複雑な気持ちになります。ロスジェネ世代とも呼ばれ世間の同情を引く呼ばれ方もありますが、我々の世代もまだまだこれから面白いことができていると思っています。

さて、コロナ禍をきっかけに、生き方、時間の使い方、消費スタイルなど、あらゆる方々のライフスタイル全般が変化しました。そんな中でも変わらないものの一つに、「働ける喜び」があると思っています。むしろ、その意味が増々強くなってきていると感じます。

10年後、自動運転やドローン配送は必ず実用化されているでしょう。その他、今の私たちの想像以上に生活様式は変化しているはずで、我々製造業の中でも、とりわけ表面処理業は環境適応業とも呼ばれる程、これまでに時代、市場、そして製品に柔軟に関わり合い現在に至ります。未来への少々の不安と大いなる好奇心（やりがい）を持ち、働く喜びを忘れずにいたいと思っています。最後まで読んでいただきありがとうございました。

1日も早いコロナ終息と、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。